

# 新たな中部圏広域地方計画 中間整理(素案) 概要版

---

暮らしやすさと歴史文化に彩られた  
“世界ものづくり対流拠点・中部”

平成27年8月17日

# 新たな中部圏広域地方計画 中間整理（案） 概要

## 第1章 我が国と中部圏を取り巻く情勢

### 第1節 時代の潮流(我が国を取り巻く情勢)

1. グローバリゼーションの進展
2. 世界を先導するスーパーメガリージョンの形成
3. 急激な人口減少・少子化、異次元の高齢化の進展
4. 巨大災害の切迫、インフラ老朽化
5. 環境、エネルギー問題の深刻化
6. 技術革新の進展
7. 国民の価値観の変化、女性・高齢者の社会参画
8. 国土空間の変化

## 第2節 中部圏を取り巻く情勢

### 1. 中部圏の地域特性・強み

- (1) **地理・自然特性**  
・交通の要衝、中部・北陸圏直結、環太平洋・環日本海に拓く
- (2) **歴史・文化的特性**  
・新進気鋭、ものづくりにいきづく、地域に根づく歴史文化
- (3) **多極分散型・重層的な地域構造**
- (4) **ものづくりに秀でた産業特性**  
・人材力・技術力・集積力、研究力、航空宇宙産業MRJ
- (5) **ゆとりある生活環境**・職住自然近接、地域コミュニティカ

### 2. 中部圏を取り巻く状況・課題

- (1) **人口動向**・人口半減する中山間地、現状維持する名古屋都市圏(製造業集積) 高齢化進展、生産労働人口減、女性・高齢者が働き住み続ける環境
- (2) **産業とインフラ**・激化する国際競争、ものづくりの高付加価値化、ICT・ロボット遅れる国際交流、昇龍道の始動、整備途上のインフラ
- (3) **災害**・全国でも高い災害リスク、南海トラフ地震、頻発激甚化する気象災害
- (4) **環境・エネルギー・土地**  
・伊勢湾水質基準未達成、渇水・エネルギー調達リスク、比較安価な地価の優位性
- (5) **地域社会と生活**・農業・農村、共助社会、急増する医療・介護・福祉需要

## 第2章 中部圏の目指すべき将来像と実現に向けた基本的考え方

### 第1節 中部圏の目指すべき将来像

暮らしやすさと歴史文化に彩られた  
“世界ものづくり対流拠点・中部”

世界の中の一部

世界最強・最先端のものづくり産業・技術のショーケース

日本の中の一部

リニア効果を最大化し活力ある都市と地方の対流促進・中部圏創生

前提となる安全安心・環境

南海トラフ地震などいかなる災害にも強くなやか、環境と共生した国土

### 第2節 5つの成長戦略

世界最強・最先端のものづくりの進化

スーパー・メガリージョンのセンター  
我が国の成長を牽引

地域の個性と対流による地方創生

安全・安心、環境共生、中部圏形成

人材育成と共助社会の形成

## 第3章 将来像実現に向けた具体的戦略

### 【戦略1】世界最強・最先端のものづくりの進化

1. **我が国の成長を担う産業の強化**～企業の国内回帰・海外の対日投資を呼び込む～  
・世界最強・最先端ものづくり中枢圏、戦略産業、環太平洋・環日本海Iに拓かれた中部北陸圏
2. **高度なものづくり技術の活用による新たな産業の創出**  
・ものづくり関連の新たな産業創生 (ICT・ロボット)、産学官連携さらなる研究力強化
3. **水素社会実現等の新しい世界モデルの提示** FCV、家庭用燃料電池、低炭素社会
4. **国際競争力を支える産業基盤の強化**  
・国際物流拠点・道路ネットワーク強化、総合的土地利活用、水・エネ供給多様化

### 【戦略2】スーパーメガリージョンのセンター、我が国の成長を牽引

1. **リニアを活かした新たな中部圏の形成**～日本のハートランド・中部～  
・東京一極集中は正、地方への人口環流、企業活動構造転換、多様なライフスタイル 大名古屋への変革、リニア中間駅圏域及び東海道新幹線・新東名沿線地域づくり
2. **リニア効果の中部・北陸圏への広域的な波及**  
・名古屋駅スーパーターミナル化、リニア効果波及のためのネットワーク強化 (中部国際空港・名古屋駅・リニア中間駅・道路・鉄道)
3. **国際大交流時代を拓く観光・交流**  
・国内外との広域観光交流、昇龍道プロジェクト、クルーズ観光、MICE

### 【戦略3】地域の個性と対流による地方創生

1. **コンパクト＋ネットワーク**・小さな拠点(道の駅等活用) 地域特性(産業・観光・生活)を活かした重層的対流
2. **広域的な連携により創り出す都市圏・地方圏の形成**・連携中枢都市圏、定住自立圏構想
3. **地域産業の活性化による地域活性活力の維持・発展**・「攻め」「守り」農林水産業の成長産業化
4. **地域の個性を活かした交流連携の創出**  
・地域資源の保存、継承、磨き上げ、掘りおこし、活用、歴史文化的資源、美しい風土風景・景観、伝統工芸・技術
5. **快適で安全・安心な生活環境の構築**  
・住民や利用者ニーズにマッチした次世代交通システム、住民生活(交通環境・治安防犯等)の安全・安心の確保

### 【戦略4】安全・安心で環境と共生した中部圏形成

1. **災害に対して粘り強くなやかな国土構築**  
・南海トラフ地震への備え、気象災害、都市防災、産業防災力、ネットワークの多重性・代替性、太平洋・日本海2面活用、首都圏バックアップ、共助防災力
2. **環境共生 持続可能な地域づくり**・保全再生、生物多様性
3. **国土の適切な管理**・健全な水循環、土砂管理、物質循環
4. **インフラの維持・整備・活用**  
・戦略的メンテナンス・活用、地域の守り手建設業強化・担い手育成

### 【戦略5】人材育成と共助社会の形成

1. **人材育成、女性・高齢者等の参画社会**  
・高度人材、グローバル人材、地域を支える人材、女性活躍社会 高齢者参画社会、障害者共生社会、多文化共生社会
2. **多様な主体による共助社会づくり**  
・多様な主体、活動の継続性、資金調達・資金循環(地産地消)
3. **誰もが愛着と憧れ住み続けたい地域づくり**
4. **医療・介護、福祉における安心な暮らしの確保**  
・地域包括ケアシステム、ICT活用医療・介護システム 等

# 第1章 我が国と中部圏を取り巻く情勢

## 第1節 時代の潮流(我が国を取り巻く情勢)

### 1. グローバリゼーションの進展(都市間競争、ものづくり、観光等)

- 東アジア・東南アジア諸国の急速な経済成長、インフラ拡充  
アジア・ユーラシアダイナミズムの取り込み
- 国内企業の海外現地生産比率の高まり、産業の空洞化
- 訪日外国人旅行者万人を見据えた、2000万人早期実現

### 2. 世界を先導するスーパーメガリージョンの形成

- 2027年リニア東京名古屋40分、東京・名古屋・大阪1時間
- 東京圏(国際的機能)+名古屋圏(ものづくり)+関西圏(歴史文化・商都)連携・融合、対流、リニア+陸海空高速ネットワーク

### 3. 急激な人口減少・少子化・異次元の高齢化の進展

- 我が国の居住地域の6割で人口半分以下、2割で無居住化
- 生産年齢人口2050年4割減、高齢化率約4割

### 4. 巨大災害の切迫、インフラ老朽化

- 南海トラフ地震・首都直下地震、今後30年以内発生確率70%
- 頻発・激甚化する気象災害
- 加速度的に増加するインフラの高齢化  
[ex 建設後50年経過の道路橋(現況)18%→(20年後)67%]

### 5. 環境、エネルギー問題の深刻化

- エネ資源の高い海外依存度、メタンハイドレート等新エネ資源
- クリーンエネルギー・水素、スマートシティ、低炭素社会

### 6. 技術革新の進展

- ICT・ロボット技術活用、生産性向上、テレワークなど労働環境
- ビックデータ、水素技術(FCV・鉄道・船舶等)、世界をリード

### 7. 国民の価値観の変化、女性・高齢者の社会参画

- 女性、高齢者の社会参画意欲
- 若者のライフスタイル多様化  
グローバルに活動「経済志向」、地域で豊かさを求める「生活志向」
- 地縁型コミュニティの弱体化
- 地域固有の課題解決に取り組む共助社会への意識高揚

### 8. 国土空間の変化

- 森林管理の困難化、耕作放棄地・低未利用地・空き家の増加

## 第2節 中部圏を取り巻く情勢

### 1. 中部圏の地域特性・強み

#### ① 地理的・自然的特性

- 日本のまんなか、交通の要衝、交わる東西軸\*南北軸\*日本海軸
- 2008東海北陸道全通、環太平洋・環日本海に拓かれた中部・北陸圏
- 日本の屋根・中部山岳、多種多様な自然環境・景観、肥沃な土壌・水
- 急流河川、我が国最大ゼロメートル地帯・濃尾平野、脆弱な国土基盤

#### ② 歴史的・文化的特性

- 戦国からいきづく先進気鋭、誇りと愛着を受け継ぐ歴史・文化
- 名古屋城下町を中心に街道・脇往還筋に発展した「まち」のつながり
- ものづくり、源流「からくり」から発し多様な技術の組合せに特徴、発展
- 精神文化(伊勢・熊野等) 伝統文化(地歌舞伎・山車祭・海女・忍者等)

#### ③ 多極分散型・重層的な地域構造

- 国際中枢都市・名古屋を中心に、産業都市、歴史文化を醸し出す・自然に秀でた都市・地域の分布
- 産業、観光、生活等多様な面での重層的なつながり

### 2. 中部圏を取り巻く状況・課題

#### (1)人口動向(「人口減少に適応」「働き住み続けたい」地域づくり)

- 中山間地や半島地域、人口減少度合いが高い(半減地域5割、うち無居住化は1割)
- 製造業集積地域や交通利便性高い名古屋都市圏の人口は、現状を維持
- 高齢者人口ピーク時期が地方部と都市部で相違
- 生産年齢人口減少(2040年、現在の3/4程度に減少)、担い手育成に課題
- 女性の東京圏流出の歯止め(男性の1.5倍の女性が東京圏へ流出継続)
- 女性・高齢者が働き住み続けたい環境整備

#### (2)産業とインフラ(激化する国際競争・遅れる国際交流)

- 激化する国際競争、中堅・中小企業の疲弊、国内回帰の動き
- ものづくり高付加価値化、ICT・ロボット技術、サービス機能強化
- 遅れる国際交流(外国人宿泊者シェア1割、中部国際空港国際旅客数6%)
- 昇龍道プロジェクトの始動(訪日外国人旅行者宿泊者数1.9倍の伸び)
- 陸海空・高速交通ネットワークのミッシングリンク、インフラ整備途上

#### (3)災害(我が国でも災害リスクが高い脆弱な国土基盤)

- 圏域の6割が災害リスクを抱え、そこに人口の約9割が集積
- 南海トラフ地震、頻発・激甚化する気象災害、土砂災害等
- 中部の地勢優位性、防災力、首都直下地震に備えたバックアップ

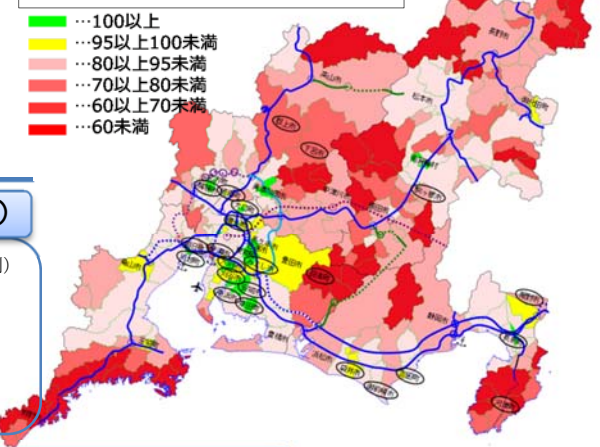
#### ④ものづくりに秀でた産業特性

- ものづくりマザー機能(人材力・技術力・集積力)
- 日本の成長エンジンの一翼、ものづくり中枢圏  
(製造品出荷額シェア1/4)
- 産学連携、高度な研究力(ex 青色LED カーボンナチューブ)
- 航空宇宙産業に新たな1ページ MRJ

#### ⑤ゆとりある生活環境

- 職住の近接、都市と自然の近接性
- 子供を産み育てやすい生活環境、地域コミュニティ力  
(高い三世帯世帯比率、出生率)

■人口指数図(2040/2010年\*100)



#### (4)環境、エネルギー、土地

- 伊勢湾水質の環境基準未達成
- 渇水リスク・エネルギー調達リスクの高まり
- 豊富な森林資源、木質バイオマス発電などへの期待
- 比較安価な地価の優位性
- 新東名開通で沿線内陸部は地価上昇、インフラ効果

#### (5)地域社会と生活

- 特色ある農業生産活動、農業農村の多面的機能の維持発揮
- NPO活動、愛知万博を契機に萌芽、共助社会の進展
- 重度介護を要しない比較的健康な高齢者が多い特徴、予防型社会構築へのアドバンス
- 住み慣れた地域での暮らし、地域包括的ケアシステム



## 第2章 中部圏の目指すべき将来像と実現に向けた基本的考え方①

### 目指す方向

- 世界を先導するスーパー・メガリージョンを舞台に、そのセンターとして、ものづくりを基軸に我が国の成長エンジンの一翼を担うとともに、中部・北陸圏の連携強化により、環太平洋・環日本海に拓かれたグローバルにヒト・モノ・カネ・情報が対流する拠点となり世界をリードする中部圏を目指す。
- 中核をなす名古屋都市圏と周辺圏域が連携・融合し対流を促進。災害に強く、自然と共生、活力に溢れ、出会い豊かで働き住み続けたい中部圏を構築する。
- 2027年リニア東京・名古屋間開業までに、人口減少・高齢化に適応し、安全・安心な、リニア効果を最大限発揮し得る中部圏を構築し、東京一極集中の是正や地方への人口環流を先導する。



### 中部圏の将来像

#### 暮らしやすさと歴史文化に彩られた “世界ものづくり対流拠点・中部”

- 日本のまんなかで我が国の国土軸が交わる要衝に位置する中部圏は、空間的・時間的・経済的ゆとりを備えた暮らしやすく、戦国から続く新進気鋭で、ものづくりにいきづき、地域に根付く歴史文化に彩られた地域特性。
- 世界に冠たるものづくりの技術と品質を最大の熱源に、暮らしやすさや歴史文化などの多様な熱源により、国内外から ヒト・モノ・カネ・情報を引き付け対流する「世界ものづくり対流拠点」を形成。スーパー・メガリージョンのセンターとして、我が国の成長を牽引。

< 世界の中の中部 >

**世界最強・最先端のものづくり産業・技術のショーケース**

世界に冠たるものづくり技術と品質。世界中からビジネスチャンスを探求し、ヒト、モノ、カネ、情報が集まり対流する拠点

< 日本の中の中部 >

**リニア効果を最大化し活力ある都市と地方の対流促進、中部圏創生**

中部圏を牽引する名古屋都市圏を始め都市・地方が連携・融合。リニアを活かし国内外との対流。産業や文化、ライフスタイルなど新たな価値創造

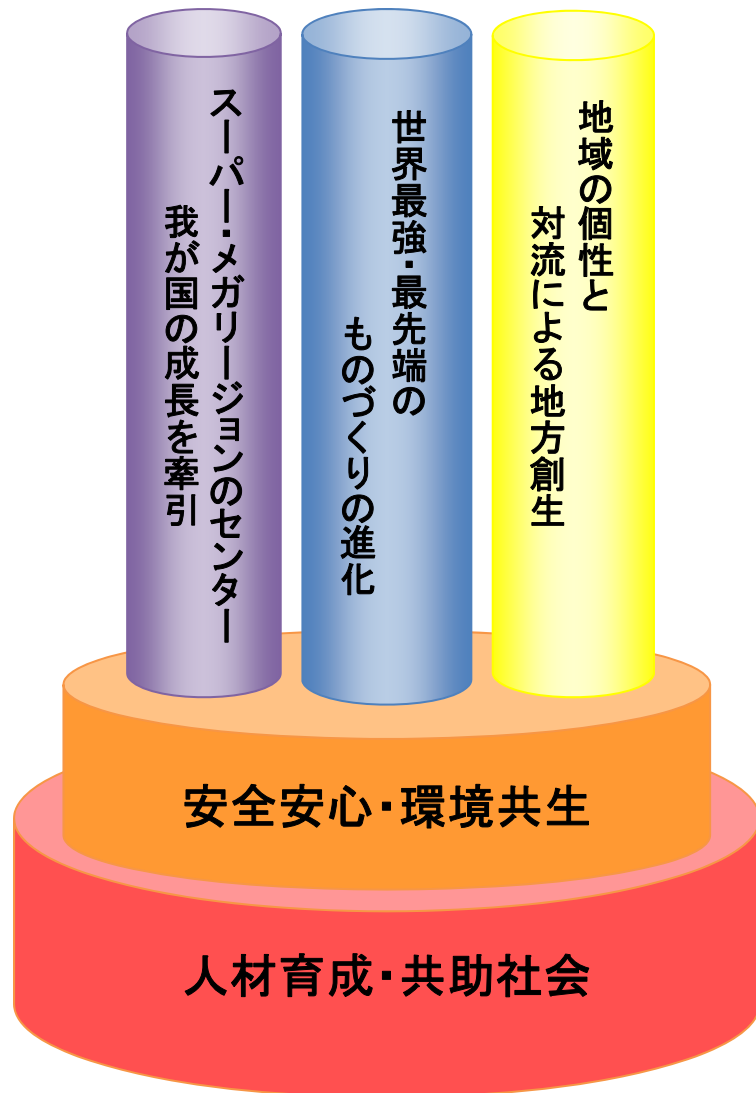
< 前提となる安全安心・環境 >

**南海トラフ地震などいかなる災害にも強くなやか、環境と共生した国土**

首都圏バックアップ機能を備えた太平洋・日本海2面活用の強靱な国土。環境と共生し、多様な主体により適切に守り、管理された持続可能な国土

## 第2章 中部圏の目指すべき将来像と実現に向けた基本的考え方②

### 5つの成長戦略



#### 【戦略1】世界最強・最先端のものづくりの進化

人材力・技術力・集積力、加えて研究力、品質力にさらに磨きをかけ、国際競争力を強化。世界最強・最先端のものづくり中枢圏域を形成。

#### 【戦略2】スーパー・メガリージョンのセンター、我が国の成長を牽引

リニア効果を最大化し中部圏の新たな価値創造。  
東京一極集中是正と地方への人口還流、国際大交流時代を先導。

#### 【戦略3】地域の個性と対流による地方創生

コンパクト＋ネットワーク。地域の個性・資源を磨き上げ、重層的対流を促進。  
働き住み続けたいくなる中部圏を創出。

#### 【戦略4】安全・安心で環境と共生した中部圏形成

南海トラフ地震など自然災害に備えた防災・減災対策、環境と共生した国土。  
国土の適切な管理を通して持続可能な強靱な中部圏を実現。

#### 【戦略5】人材育成と共助社会の形成

次代を担う人材を育て、女性・高齢者を始め誰もが生き生き暮らし、社会参画できる、地域に愛着と憧れを持ち助け合う共助社会を実現。

ものづくり中部の人材力、技術力、集積力、加えて研究力、品質力に磨きをかけ、戦略産業を中心に強力なクラスターを形成。ICTやものづくり技術の活用・応用により新たな産業を創生するとともに、水素技術を先導的に実社会に還元を図り、世界から、ヒト・モノ・カネ・情報が集まり、対流する世界最強・最先端のものづくり中枢圏域を形成。

我が国の成長を担う産業の強化～企業の国内回帰・海外の対日投資を呼び込む～

(1) 中部圏の産業競争力の強化

(中部圏の戦略産業の強化)

- ・新たな成長ステージへの移行を牽引する**戦略産業**（自動車関連産業・航空宇宙産業・ヘルスケア産業・環境産業）
- ・ものづくりマザー機能（人材力・技術力・集積力）、太平洋から日本海に至る**広域産業クラスター**、世界最先端の**品質力**、**絶え間ないイノベーション創出**、ICT・ロボット技術の積極活用

(グローバル展開の支援)

- ・世界最適生産体制構築の中で、研究開発等のものづくり中枢機能は国内工場に維持、拡充。
- ・海外の**高度人材**が求める**高質なサービス**を提供する生活環境、**留学生・研修生受入環境**、海外企業の**戦略的誘致**。

(2) ものづくり産業を支える中堅・中小企業の振興

- ・ものづくりマザー機能の重要なポジションを占め、**サプライチェーン全体に関わる中堅・中小企業**。
- ・ビジネスマッチングや販路拡大支援など中堅・中小企業の活性化を図り、**技術力、競争力、経営力**を強化。

(3) 環太平洋・環日本海に拓かれた一大産業拠点・中部北陸圏の連携強化

- ・高度なものづくり集積の**中部圏**と、**素材産業**などに特徴を有する**北陸圏**の**戦略的連携**。
- ・**東海北陸連携コンポジット・ハイウェイ構想**、炭素繊維複合材に係る研究開発・生産・加工・組立を中部・北陸それぞれの強みを活かした**戦略的連携強化**、**アジア・ユーラシアダイナミズム**を取り込む**我が国の一大産業拠点**



高度なものづくり技術の活用による新たな産業の創生

中部圏ものづくり産業構造イメージ

(1) ものづくり産業に関連する新たな産業の創生

- ・ICT技術革新。ロボット技術等の積極的活用、**ものづくり産業関連の新たな産業を創生**
- ・様々なモノに通信機能を持たせ相互に接続・通信する**モノのインターネット化 (IoT)**。

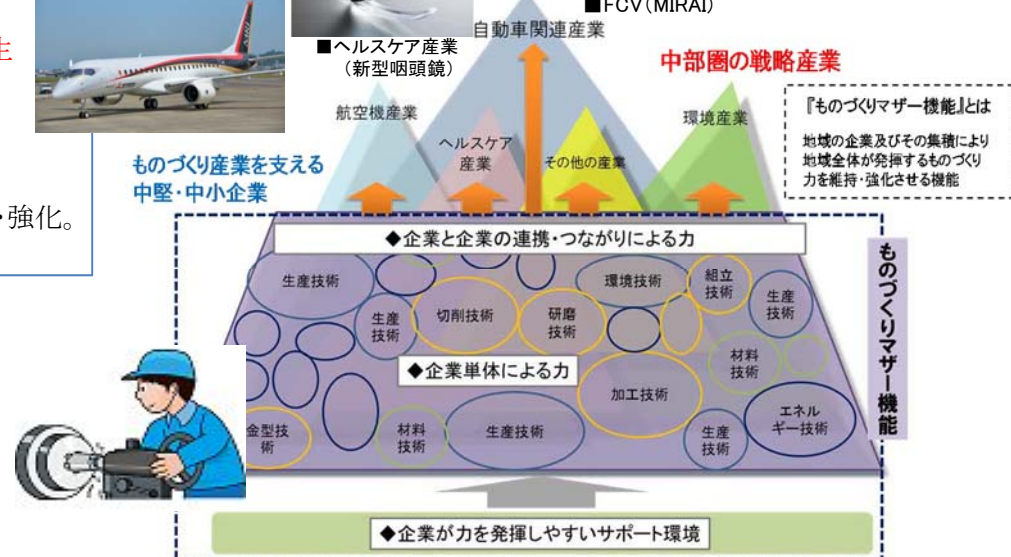


(2) 大学や官・民の研究施設等のネットワーク強化による更なる研究力の強化

- ・高度な研究力を発展させた**絶え間ない革新的なイノベーションの創出**。
- ・大学や公設、民間の研究機関施設等のネットワーク強化と知的対流拠点機能の整備・強化。
- ・新たな知的財産に基づく新規起業を促進する環境整備の推進。

水素社会実現等の新しい世界モデルの提示

- ・先陣を切った**FCV開発・量産化**、水素社会実現のアドバンテージ
- ・水素関連技術の積極的活用、家庭用燃料電池、公共交通機関や産業車両フォークリフト等への導入、水素ステーションの整備促進
- ・地域社会全体で低炭素社会に向けた**未来の水素社会の世界モデル**を構築。





国際競争力を支える産業基盤の強化

(1) 基幹産業を支える国際物流拠点の強化

① 国際拠点港湾等の機能強化

・名古屋港、四日市港、清水港等の国際物流機能強化、老朽化・陳腐化する港湾施設再編・高度化、大型化するコンテナ船、増大するコンテナ貨物に対応した国際海上コンテナ輸送網強化

② 国際拠点空港の機能強化

・中部国際空港の国際貨物ネットワーク拡充、完全24時間化など空港機能の強化

(2) ものづくり産業を支える陸海空の拠点を結ぶ道路ネットワーク強化

・東海環状東回りのストック効果、沿線の工業団地3倍増加、沿線市町製造品出荷額1.4倍増  
 ・ミッシングリンクが新たな成長ステージ発展への妨げ。求められる東西軸(新東名・新名神)、南北軸(東海北陸道等)、環状軸(東海環状西回り等)基幹ネットワークの強化。  
 ・国際空港・港湾や生産拠点集積地域へのアクセス強化。  
 ・ITS活用やスマートIC整備等インフラを賢く使う、人流・物流の円滑性を確保・強化し中部圏の生産性を高める。

(3) 将来を見据えた総合的な土地の利活用

・交通インフラ整備、治水安全性の向上、空港・港湾の機能強化等に合わせた生産拠点や物流拠点等を計画的に整備  
 ・地域の安全や必要な農地、経済成長等持続的な地域経営を実現する観点からの総合的な土地の利活用

(4) 安定したエネルギー供給や多様化・水資源の確保

・省エネルギー化と木質バイオマス等再生可能エネルギー、メタンハイドレート等新エネルギー源の開発、エネルギーのベストミックスの実現。  
 ・水の安定供給を図る水資源開発施設の整備や既存施設の有効活用

ものづくり産業を支える物流インフラネットワーク

新東名高速道路



国際物流を支える名古屋港飛鳥ふ頭 (IT自動化コンテナターミナル)

■名古屋港

・総取扱貨物量は12年連続全国1位(2.1億トン)  
 ・貿易額は4年連続全国1位(16.3兆円)  
 ・貿易黒字額全国1位(6兆円)

飛鳥ふ頭南側CT

遠隔自働RTG

世界初



TS1 (-16m)

TS2 (-18m)

日本初

AGV(自働搬送台車)



名古屋港

写真提供:名古屋港管理組合

環太平洋ネットワーク



中部国際空港



世界を先導するスーパーメガリージョンのセンターとしての役割を果たしていく中部。リニア効果を最大化し、中部圏の新たな価値を創造するとともに、ものづくりやゆとりある生活環境などの地域特性を活かした地域づくりを進め、東京一極集中是正と地方への人口環流を先導、また、国際大交流時代を迎える中で、国際的な観光交流を先導し我が国の成長を牽引。

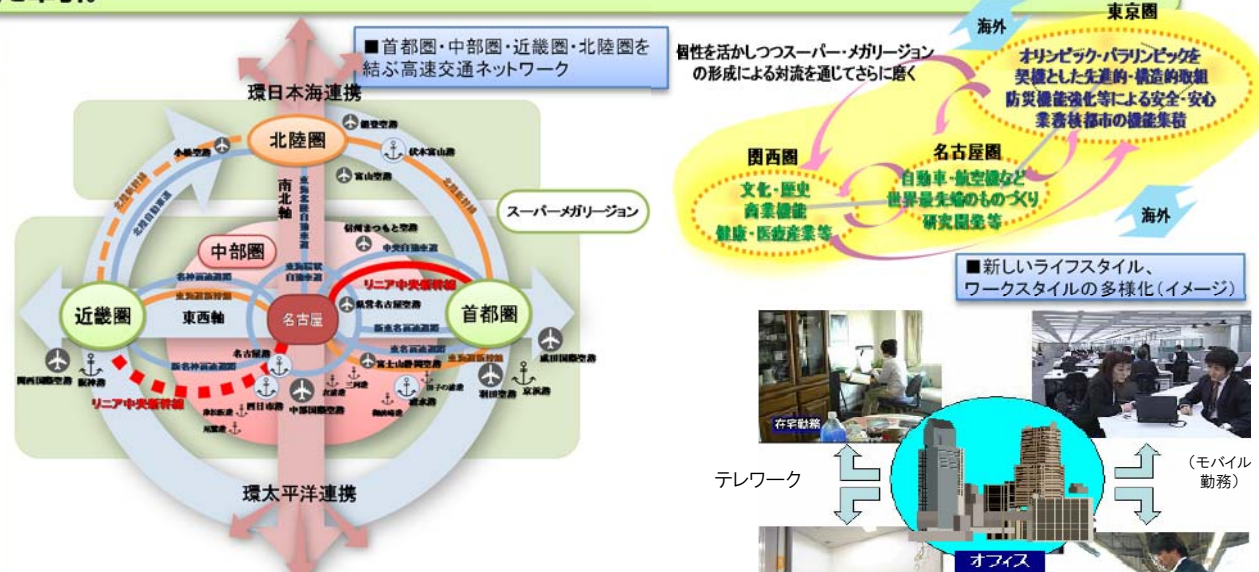
リニアを活かした新たな中部圏の形成～日本のハートランド・中部～

- (1) 中部圏の役割と中部固有の新たな価値の創造
- ①スーパー・メガリージョンにおける中部圏の役割
- スーパー・メガリージョンのセンター、ものづくり基軸、我が国の成長エンジンの一翼、世界からヒト、モノ、カネ、情報を引き寄せる拠点
  - 東京一極集中是正、地方への人口環流を先導
- ②新たな価値創造(企業活動の構造転換、多様なライフスタイル)
- 政府関係機関の地方移転受入、企業の本社機能・研究開発機能等の移転促進、企業の活動・経営の構造転換支援
  - テレワーク・二地域居住等多様なライフスタイルの選択肢提供、中部圏の新たな価値創造、地域ポテンシャルを高める
- ③日本のハートランド・中部
- ものづくりを軸とした活力ある都市と、自然豊かで暮らしやすく歴史文化に彩られた地方の連携・融合。我が国の縮図。名古屋都市圏を玄関に、周辺圏域を心休まる奥座敷に例えた、日本人の心の故郷・ハートランドを構築

- (2) 大名古屋への変革—世界のNagoyaへ—
- 中部圏の中心的作用を担う名古屋都市圏、世界のイノベーションセンターとして、大名古屋、世界のNagoyaへ変革、世界標準機能を確認した国際的な認知度の高い都市圏を構築

- (3) リニア中間駅を核とした地域づくり
- ①リニア長野県駅(飯田地域等)
- 東京圏と45分アクセス地の利、グローバル企業の本社・研究開発機能の立地促進、航空宇宙産業クラスター形成、大自然に囲まれた中で働き暮らす新しいライフスタイル、移住定住・二地域居住、山岳高原・多彩な伝統文化、地域も人々も輝くリニアバレーの実現
- ②リニア岐阜県駅(中津川地域等)
- 日本の原風景(木曾、飛騨等)、宿場・街道文化、温泉、山車・祭り文化、地歌舞伎、農業・林業資源を活かす広域周遊型観光の拠点
  - 東海環状+中央道+リニア結節(東濃クロスエリア)を活かした企業誘致・産業力強化、名古屋駅10分、名古屋都市圏と一体となった発展

- (4) 東海道新幹線・新東名高速沿線地域へのリニア効果
- リニア開業に伴う東海道新幹線沿線地域の利便性向上
  - リニアと東海道新幹線、新東名高速道路が南北に高速道路で連結、富士山静岡空港や清水港との連結強化、高速鉄道・空路・陸路・海路の一体化、交流人口拡大、新東名高速道路沿線の地域開発



リニア効果の中部・北陸圏への広域的な波及

- (1) 名古屋駅のスーパーターミナル化
- 多モード結節拠点として、鉄道・バスとの乗換利便性や高速道路との結節性を高める
  - 国際中枢都市・名古屋にふさわしいゲートウェイ、シンボリックな都市空間を形成
- (2) リニア効果波及のためのネットワーク強化
- ①中部国際空港の機能強化、並びに名古屋駅とのアクセス強化
- 中部国際空港と名古屋駅、中部圏・名古屋のみならず、スーパー・メガリージョンのセンターとして我が国へのエントランスとして、一体的に機能
  - 中部国際空港の完全24時間化、LCCなど新たな航空需要に応える機能強化等
  - 中部国際空港と名古屋駅間の鉄道乗継利便性を高め、シームレスでスピーディな移動環境、両者の一体化
- ②リニアと一体となった道路・鉄道ネットワークの強化(道路ネットワーク)
- 名古屋駅を中心に周辺諸都市とのアクセス強化、中部国際空港と名古屋駅のリダンダンシーアクセス強化
  - リニア中間駅(岐阜県駅、長野県駅、山梨県駅)から利用圏域へのアクセス強化
  - リニア効果を中部圏、さらに北陸圏に波及拡大させる基幹ネットワーク強化(環状軸、東西軸、南北軸、半島地域へのアクセス軸)
- (鉄道ネットワーク)
- リニア効果(時間短縮)を広く波及させるため、名古屋駅との間で速達性に課題がある在来鉄道路線の機能強化
  - 名古屋駅からの鉄道アクセス40分圏域の拡大、並びに中間駅での在来線との結節性強化



国際大交流時代を拓く観光・交流

(1)国内外との観光・交流の促進

①中部国際空港やリニア駅を核とした広域観光交流圏形成

- ・リニア・東海道新幹線・北陸新幹線の高速鉄道による環状ルートネットワークの形成、高速道路ネットワーク整備や空港機能強化との連携、訪日外国人旅行者3000万人や国民の多様化する観光需要を取り込む基盤を形成
- ・国内外から人を呼び込み、旅行者が直接中部の魅力に触れ、体験、加えて地域住民と交流する滞り型観光交流の促進
- ・中部国際空港、リニア駅、富士山静岡空港、信州まつもと空港などをイン・アウトの拠点、高速交通ネットワークと連携したマルチモーダルな広域観光周遊ルートを形成、広域観光交流圏を構築

②昇龍道プロジェクトの展開強化

- ・昇龍道エリアの歴史文化、産業、自然、また和食や日本酒などの食文化等様々な観光資源の発掘、磨き上げし、テーマ性・ストーリー性を持った周遊ルートの構築
- ・公衆無線LANなど外国人旅行者の受入環境整備、マルチモーダルな移動環境、ソフト・ハード両面のネットワーク化、ゴールデンルートに比肩する昇龍道エリアを構築。

③クルーズ観光の振興、普及

- ・増大するクルーズ観光需要、広域周遊観光との連携、クルーズ船の寄港増や大型化に対応する受入環境整備

(2)国際交流拠点の魅力創造・発信

- ・2016年主要国首脳会議(伊勢志摩サミット)、国際交流ポテンシャルの向上、高速交通ネットワーク拡充は国内外に中部圏の魅力発信のアドバンテージ。
- ・MICE(国際会議や国際見本市)、国際的なスポーツ大会、文化芸術イベント等の誘致促進
- ・これらの場にふさわしいMICEの受入環境、コンベンション機能の拡充・強化

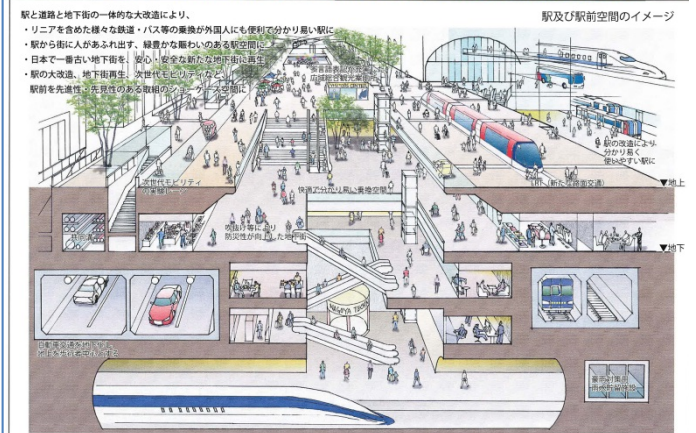
■昇龍道プロジェクトの展開強化



■広域観光交流圏の形成



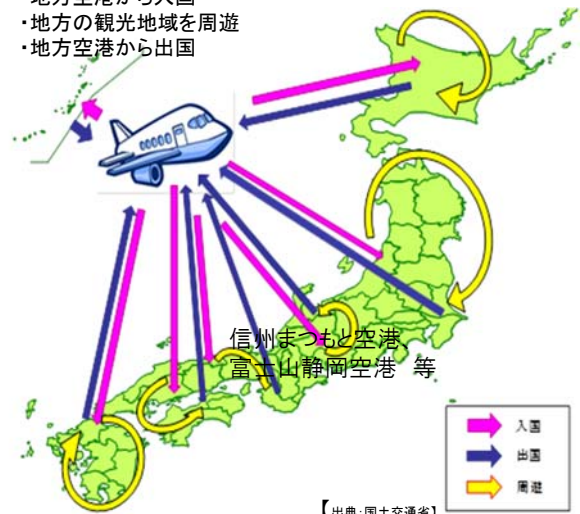
■名古屋駅および駅前空間のイメージ



【出典:名古屋の街づくりを考える会資料】

■地方空港イン・地方空港アウトの促進

- 地方イン + 地方アウト
- ・地方空港から入国
  - ・地方の観光地域を周遊
  - ・地方空港から出国





人口減少下において、行政や生活機能を一定のエリアにコンパクト化し、交通ネットワークで結ぶことにより地域住民の生活利便性の向上を図る。また、それぞれの地域が、産業や地域に根付く歴史文化や美しい風土風景・景観など地域資源を磨き、役割や機能を分担しつつ熱源となり重層的な対流を促進することで、雇用の促進につなげ、働き住み続けたいくなる中部圏を創生。

コンパクト+ネットワーク

(1)「小さな拠点」の形成・活用による持続可能な地域づくり

①小さな拠点の形成

- ・人口減少進展、生活水準を維持することが困難な地域が多くなる見込み
- ・中山間地域等では基幹集落に生活サービス機能やコミュニティ機能をコンパクトに集約化。周辺集落や都市部とは交通ネットワーク等でつなぐ
- ・「小さな拠点」は、住民生活を「守る」と、地域外住民との対流拠点「攻め」のふたつの役割

②「道の駅」や「みなとオアシス」などの有効活用

- ・中部圏の特色ある「道の駅」(150駅)、地域の元気を創る地域センター機能や、地域外から活力を呼ぶゲートウェイ機能など多面的な機能、「小さな拠点」の核として有効活用
- ・「みなと」の核とした、まちの賑わい、交流、観光、防災拠点等多面的機能を有する「みなとオアシス」の有効活用

(2)地域特性に即した「コンパクト+ネットワーク」による対流の促進

- ・ものづくりに秀でた産業都市、歴史文化の趣を醸し出す都市・地域、自然豊かな様々な都市・地域が、産業や観光、生活面等様々な機能に応じて重層的につながる圏域特性
- ・車や航空機、セラミック等の産業、木工や焼き物等伝統技術、歴史文化、観光などのテーマ、古くから地域社会を形成してきた生活圈エリア等、テーマやエリアに応じた重層的な交流連携、対流により地方創生

広域的な連携により創り出す都市圏・地方圏の形成

(1)連携中枢都市圏や定住自立圏構想による新たな広域連携

(連携中枢都市圏)

- ・中核市を中心とした近隣市町村の連携、また広域で一体的な生活圈・経済圏を形成する市町村連たんによる連携、多様な高次都市機能サービスを連携補完

(定住自立圏構想)

- ・人口5万人程度以上の要件を満たす中心市と近隣市町村の連携協力

(2)地域の個性や特性を活かした広域連携による地域づくり

- ・高速道路整備の進展、県境を越えたより広域的な連携による多様な対流ヒト・モノ・カネ・情報が双方向に活発に流れ、拡大することで、地域の活力を維持、増進

■小さな拠点(コンパクト+ネットワーク)



◇小さな拠点の形成  
小学校や旧役場庁舎の周辺に日常生活を支える買い物、医療等の「機能」をコンパクトに集積。交通と情報通信によるネットワークで周辺を支える

■「道の駅」の多面的な機能

- ・地域の産業や福祉、防災拠点など地域の元気を創る地域センター機能(守りの機能)
- ・地域の観光エンタランスなど地域外から活力を呼ぶゲートウェイ機能(攻めの機能)

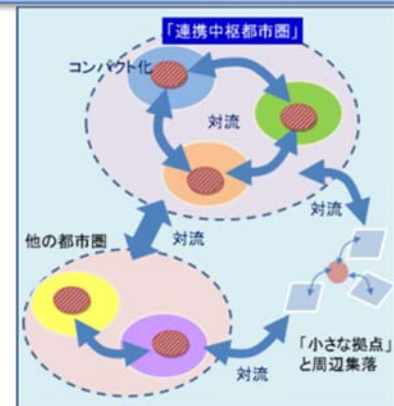


■どんぐりの里いなぶ (愛知県 豊田市)



・体験観光の総合窓口機能  
・地方移住に係る情報発信機能を備える

■連携中枢都市圏と他都市圏の連携イメージ



「連携中枢都市圏」  
一定の圏域人口を形成する複数市町村が、高次の都市機能を分担・連携

- ・地域のけん引役となる、個性ある都市圏を形成
- ・周辺の市町村、「小さな拠点」を形成する中山間エリアとも連携

人口減少社会における新たな国土構造の形成



地域産業の活性化による地域活力の維持・発展

(1) 地域を支える農林水産業の強化

- ・攻めの農林水産業展開、6次産業化・地域ブランド化・農林水産物食品の輸出促進、成長産業化(農業)・農地中間管理機構を活用した農地集積・集約化・汎用化など農業生産基盤整備
- ・ロボット・ICTを活用したスマート農業、次世代施設園芸拠点整備
- ・地域の共同協働により支えられる農業・農村の多面的機能の維持・発揮、日本型直接支払制度
- ・農業生産者と小口需要家間の多様な需要に対応した物流システム構築。農産物の高付加価値化
- (林業)・森林資源の循環利用、木質バイオマスエネルギー利用など新たな木材需要と雇用を創出
- ・北遠・木曾・尾鷲等良質な森林資源、適切な管理と木材・製品ブランド化、森林認証制度(FSC)活用
- (水産業)・水産資源の適切な管理、漁場環境の保全、水産物の生産から陸揚げ、流通・加工まで一貫した供給システムの構築

(2) 地域住民の生活を支える地域消費型産業の振興 ・生活に必要なサービス、卸小売業や飲食業等

地域の個性を活かした交流連携の創出

(1) 地域資源を最大限活用する観光振興

- ・中部ならではの多種多様な観光資源
- 世界遺産(富士山・熊野古道・白川郷・五箇山・葦山反射炉)、伊勢神宮・熱田神宮など精神文化、城郭・古いまちなみ、武将・忍者等歴史文化資源、海女・鵜飼など漁猟文化、山海資源や醸造技術を活用した独特の食文化、地歌舞伎、山車祭り文化、産業遺産、ユネスコエコパーク・ジオパーク等特色ある地質・地形
- ・観光資源の適切な保存・継承・磨き上げ・掘りおこし、グリーン・ツーリズムなど体験型観光、歴史文化的価値のある産業遺産や最先端のものづくりに触れる産業観光

(2) 歴史・文化の魅力を活かしたまちづくり

- ・魅力ある歴史文化資源(古都高山、白川郷・五箇山、城郭・街道筋、戦国遺産、山車文化、産業遺産、焼き物、刃物、和紙、からくり等)
- ・地域住民の日常生活と調和した歴史文化資源の復元、街並み修景、来訪客との交流を活性化

(3) 美しい風土・風景と良好な景観の創出

- ・中部固有の自然や原風景、それらを背景に営まれてきた集落生活が造り出したまちなみや田園風景、歴史文化や水の恵み・潤いを醸し出す景観等
- ・守るべき自然や原風景、田園風景等自然空間と、それらと融合した美しい景観を創造していく空間、地域が一体となって魅力ある空間を維持、また創造

(4) 伝統工芸の振興

- ・ものづくりの源流「からくり」、木工技術、刃物、焼き物、和紙、漆器、水引など地域が古くから守り育ててきた伝統技術、次代への継承、地域ブランド力を高めつつ、国内外に広く情報発信

■ 多様な地域資源



快適で安全・安心な生活環境の構築

(1) 住民や利用者のニーズにマッチした次世代交通システムの構築 (ICT・新技術等を活用した次世代交通システムの構築)

- ・ETC2.0の展開による、効率的な経路選択や安全運転の実現、ICT活用による車の自動運転等、交通や物流システムに変革をもたらす次世代交通システム
- ・人口減少・高齢化社会における地域住民のニーズに応じ、自動運転技術をオンデマンド型の地域公共交通機関への応用・展開
- ・超小型モビリティを活用した移動手段の常用化(環境負荷低減、高齢者の足、観光等)

(モビリティセンターの構築)

- ・まちの核となる交通結節機能と都市機能を付加したモビリティセンター構築

(2) 住民生活の安全・安心の確保

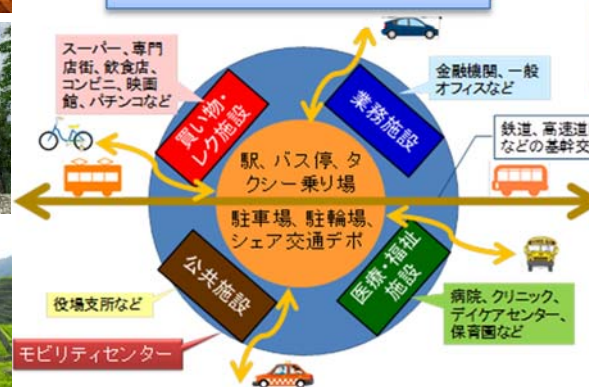
(安全・安心な交通環境)

- ・生活道路や通学路の安全対策、歩行者空間や自転車利用環境の整備、高齢者の交通事故対策等
- ・地方鉄道やバス交通等の維持・確保、離島交通やフェリーによる海上交通の安定確保、ユニバーサルデザインに基づく交通環境の構築

(治安・防犯面等における安全の確保)

- ・地域コミュニティを活かした安全の確保、交番相談員の活用、防災・防犯活動拠点の確保、防犯ボランティアの育成と支援、夜間照明・防犯カメラ等居住環境の整備
- ・サイバー空間の安全性、トレーサビリティによる食の安全等

■ モビリティセンター(イメージ)



■ 超小型モビリティ (スマートモビリティパーク)



【出典：TOYOTA HPより】

【出典：名古屋大学森川高行教授作成の資料より】

南海トラフ地震や頻発・激甚化する気象災害に備え、ソフト・ハードが一体となった防災・減災対策を推進し強くしなやかなで、また、多様な自然環境や生物多様性の維持保全により環境と共生した国土を構築する。加えて、健全な水や土砂管理、森林・農地の整備保全、また、インフラの戦略的な維持・整備・活用など国土の適切な管理を通じて持続可能な中部圏を実現。

災害に対して粘り強くしなやかな国土の構築

(1) 南海トラフ地震に備えた強靱な国土の構築

- 中部圏の産学官民130機関が連携した南海トラフ地震対策中部圏戦略会議の取組進化
- 「国土交通省南海トラフ巨大地震対策計画・中部ブロック地域対策計画」「伊勢湾港湾広域防災協議会」の取組強化
- 産学官民一体となった、ソフト・ハード両面の総合的な防災減災対策

(2) 頻発・激甚化する気象災害(自然災害)への対応

- 国土強靱化基本計画や地域強靱化計画、地域特性に応じた災害リスクの適切な評価等ハード・ソフトの適切な組合せによる着実な防災減災対策
- 新たなステージに対応した防災減災対策、産学官民53機関が連携する東海ネーデルラント高潮洪水地域協議会、ゼロメートル地帯における危機管理行動計画の進化

(3) 都市の防災・災害対策の推進

- 中部圏の活力の源、名古屋をはじめとした都市部における災害被害の最小限化、迅速な復旧・復興を可能とする都市防災力の強化
- 代替の効かない名古屋駅等の堅牢化、市街地における無電柱化、地下空間浸水対策、都市型水害対策、密集市街地対策、住宅・建築物耐震化・不燃化、高潮対策等
- 大規模災害時における帰宅困難者対策や住民、来訪者の避難誘導対策等
- 遅れる都市部官民境界基本調査や地籍調査の加速

(4) ものづくり産業の防災力強化

- 企業のライフライン(電力・ガス・水道)の代替手段確保、生産ライン設備の耐災害性向上
- サプライチェーンの複線化や部品等の代替性確保、工場・事業所の分散・移転、個別企業のBCP策定促進等事前対策の充実化

(5) 広域的な連携による支援体制の強化

- 圏域を越えた災害時相互応援協定の締結等、広域的な救援活動・支援体制の構築
- 被災時の救出・救助や復旧・復興活動の拠点施設の耐震・液状化対策
- 広域緊急援助隊(警察)等災害対応部隊や緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)の機能強化

(6) ネットワークの多重性・代替性確保、並びに首都圏のバックアップ体制の強化

- ① ネットワークの多重性・代替性、太平洋・日本海2面活用型の強靱な国土の構築
- 中部北陸圏、首都圏、近畿圏は我が国社会経済活動の要衝、途絶させない重要使命
- 重要交通網のネック箇所の土砂災害対策、港湾の耐震強化岸壁、緊急輸送道路ネットワークの整備・耐震化などによる防災ネットワークの強靱化
- 中部北陸圏の空港・港湾がその代替性を強化、東西軸・日本海軸・南北軸により二重、三重にネットワークされた、太平洋・日本海2面活用の強靱な国土

② 首都圏のバックアップ体制の強化

- 東西・南北にダブルネットワーク化された中部圏の防災力を活かし、首都直下地震に備え、首都圏に集中する行政・物流・企業本社機能等のバックアップ体制強化
- 大規模な広域防災拠点等広域防災ネットワーク強化、首都圏集中機能の受入促進
- 東西日本間の電力融通を行う周波数変換装置の拡充など、電力系統の増強等による電力逼迫時における広域的な電力融通の円滑化

(7) 地域コミュニティによる自助・共助体制を活かした防災力の向上

- 住民同士のつながりが強い地域コミュニティの強みを活かし、地域自らがともに防災・減災対策に取り組む自助・共助体制を構築、地域防災力の強化

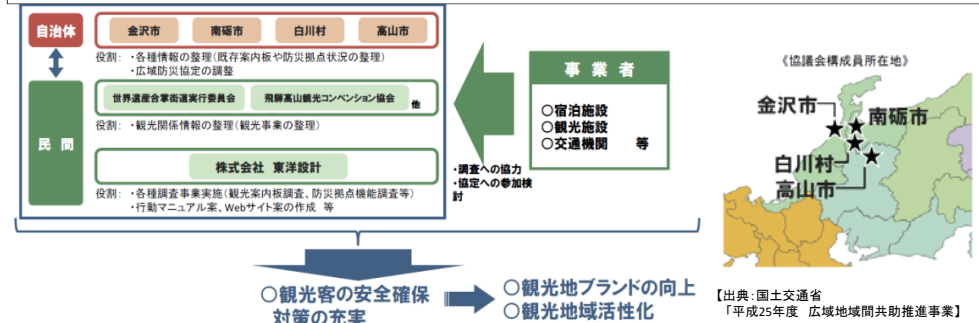
■ 強靱な国土の構築

- ネットワーク多重性・代替性確保
- 太平洋・日本海2面活用型国土
- 首都圏のバックアップ機能強化



■ 北陸飛驒3つ星街道広域防災共助推進事業

◆ 北陸新幹線開業を見据えた広域観光事業推進のための協議会の枠組みを活かし、災害時における観光客の避難誘導のあり方等を検証し行動計画を策定





環境と共生した持続可能な地域づくり

(1) 自然環境の保全・再生

① 多様な自然環境の保全・再生

・中部山岳から太平洋、日本海に至る多様な自然環境を活かした環境教育、自然公園整備、都市部の緑地空間の保全創出等

② 生物多様性の確保

・中部のアイデンティティ・生物多様性、多様な植生や生態系の維持・保全  
 ・広域的な動植物の生態系ネットワーク「緑の回廊」など先進的な環境保全、侵略的外来生物の駆除、多自然川づくり、「人」と「いきもの」が身近に共生する環境整備、生物多様性保全に係る「愛知目標」の実現

③ 沿岸域の海洋環境の保全・再生

・水源域から沿岸域まで一体となった総合的土砂管理や、干潟・海浜の造成、漂流漂着ゴミ対策等、陸域と一体となった沿岸域の保全・再生

(2) 低炭素型都市・地域づくりの推進

・温暖化ガス排出抑制による地球環境の負荷軽減、国土強靱化につながる低炭素型都市づくり  
 ・環境未来都市／環境モデル都市（豊田市・飯田市・御嵩町等）の実績などを活かしたスマートシティ形成  
 ・モーダルシフト促進によるグリーン物流の促進、バス・タクシー・トラック事業者等へのEV、PHV、FCV等導入促進、充電設備・水素ステーションの整備促進

国土の適切な管理

(1) 健全な水循環、総合的な土砂管理による循環型国土の構築

(健全な水循環)

・森林・農地の保水力、水源涵養・地下水涵養・雨水貯留機能の維持向上、水辺空間の保全再生  
 ・関係者の連携、流域の総合的かつ一体的な管理による、健全な水循環の維持・回復  
 ・伊勢湾の水質改善、排出汚濁負荷量の削減や干潟・浅場の保全再生などへの取組  
 ・伊勢湾再生推進会議を中心とした流域圏一体となり、美しく健全な活力ある伊勢湾再生を目指す

(総合的な土砂管理の推進)

・流域における土砂移動の遮断、河床上昇や河道・河口閉塞、海岸浸食、砂浜機能低下  
 ・山地から海岸までの一貫した総合的な土砂管理

(2) 物質循環の安定確保、地域循環圏の形成

・地域で循環可能な資源は地域で、困難はものは循環の環を広域化、重層的な地域循環圏の形成  
 ・廃棄物の適正処理、港湾などを活用した最終処分場

(3) 森林や農地の整備保全

・紀伊山地・木曾地域など豊富な森林資源、適切な整備・保全、循環利用促進、担い手育成、多様な主体による森林づくりを通じて緑の国土強靱化を促進  
 ・農業・農村の有する多面的機能を維持・発揮、農業を継続することで健全な国土の保全



環境と共生した地域づくりへの取組

■清流の国ぎふ親子「森・川・海」体験ツアー



写真提供：岐阜県

■奈佐の浜清掃活動



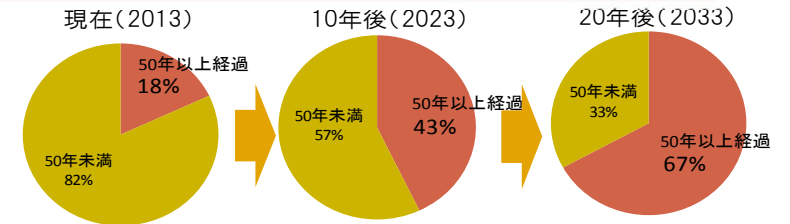
【出典：第8回伊勢湾再生推進会議資料】

■あいち生物多様性フォーラム



写真提供：愛知県

■戦略的なメンテナンスサイクル構築（道路橋の建設後50年経過橋梁の割合）



出典：国土交通省「社会資本整備審議会・交通政策審議会技術分科会技術部会社会資本メンテナンス戦略小委員会資料」をもとに作成

インフラの維持・整備・活用

(1) インフラの戦略的なメンテナンスの推進

・インフラ長寿命化計画に基づく適切な維持管理・更新、長寿命化対策や統廃合等、トータルコストの縮減、平準化  
 ・メンテナンスサイクル(点検・診断・措置・記録)構築、継続的發展  
 ・過積載等違法車両に起因する道路損傷、大型車両通行適正化

(2) インフラの戦略的な活用

・多様化する利用者ニーズに応えたインフラの高度利用、ITS安全運転システム、ETC2.0プロブデータ活用、VICS等、ICT活用・応用した社会システム(スマート・インフラ)構築  
 ・ダムや導水路等水資源開発施設の運用高度化や港湾施設再編等  
 ・インフラを賢く多面的に活用

(3) 地域の守り手・建設業の強化、担い手の育成・確保

・安全安心な地域社会に必要な不可欠な基幹産業、インフラ維持管理、災害対応力、地域の守り手となる建設業  
 ・地域防災計画における指定地方公共機関への位置付けによる社会的認知  
 ・中長期的な観点で安定的な公共投資の見通し確保による建設業の強化  
 ・技術者や技能労働者の労働環境、若者や女性が安心して入職し、生き甲斐を持って働くことができる環境整備  
 ・大学・地域・民間連携による社会人教育(ex 岐阜大ME)、中部圏建設担い手育成ネットワーク協議会(建設若者塾等)

(4) 民間活力の活用

・PPP/PFI、コンセッション方式導入(有料道路、下水道、空港等)民間資金・ノウハウの活用  
 ・民間企業の意欲、活力を阻害しないようなルールづくり

ものづくりを支える高度人材やグローバルに活躍する人材、また地域社会で活躍する人材を育てるとともに、中部圏のゆとりある生活環境や、地域や人のつながり、地域コミュニティの強さを活かし、女性や高齢者、障害者、外国人など全ての人々が安心な暮らしと社会参画できる、誰もが地域に愛着を持ち、助け合う共助社会を実現

人材育成、女性・高齢者等の参画社会

(1) 中部圏を支える人材の育成

① 高度人材、グローバルに活躍する人材の育成と確保

- ・世界最先端ものづくりの研究・開発を担う高度人材、グローバルに活躍する人材の育成、
- ・グローバル企業、大学等教育機関連携・協力による実践的教育・専門技術を磨く教育、産学官連携強化・広域化、海外企業やグローバル企業、教育機関等も含めた人材交流

② 地域を支える人材の育成と確保

- ・地元企業、大学等地域の教育機関など地域社会の連携・協力、長期実践型インターシップ、フィールド実習等を通じた実践的教育

(2) 女性や高齢者等の社会参画

① 女性活躍社会の実現

- ・子育てや家事を中心的に担う堅実的なライフスタイルの女性、家庭と仕事を両立しキャリアを積みグローバルな活躍を目指す女性、地域で活躍することを望む女性など多様な意向
- ・女性が自身の経験と能力を活かし、場所や働き方にとらわれず、安心して子どもを産み育て、働き活躍できる環境整備
- ・ICT活用によるテレワーク型就業形態などワークライフバランスの一層実現
- ・女性の雇用吸収力の高い三次産業、ものづくり産業から派生するサービス産業（設計、デザイン、技術研究等）拡充、女性が起業しやすく、魅力ある「まち」実現
- ・子育て施設の充実。家庭・職場・保育が近接するまちづくり

② 高齢者参画社会の促進

- ・健康寿命の延びや生涯現役志向の高齢者増加
- ・ものづくり技術・知識・経験・ノウハウを有するシニア人材と企業のマッチング
- ・高齢者の有する伝統工芸・伝統芸能に関する技術の伝承
- ・公共施設の維持管理における退職技術者の活躍の場、後輩技術者の指導

③ 障害者共生社会の実現

- ・障害者自らの意思であらゆる社会活動に参加し、能力を最大限発揮し得る障害者共生社会
- ・身近な地域で相談支援を受けられる体制、雇用促進・就労支援ユニバーサルデザイン

④ 多文化共生社会の形成

- ・製造業等の現場における外国人労働力は大きな役割、外国人が地域で安心して暮らし働ける環境の実現
- ・コミュニティ単位での多文化交流、多文化共生の意識を浸透
- ・医療、教育などの多言語環境、地域コミュニティの一員として活動できる環境整備

多様な主体による共助社会づくり

- ・愛・地球博を契機に様々な市民活動が萌芽
- ・多様な日常生活支援サービス産業（医療介護、福祉、まちづくり、見守り、子育て等）、地域の課題を発見し解決するソーシャルビジネス、課題解決型NPOなど
- ・多様な主体の活動の継続性を実現するための環境整備（人材育成、資金調達、資金循環、プラットフォーム構築）
- ・企業CSR活動、プロボノ活動、資金調達の仕組み（クラウドファンディング、ふるさと納税、社会的投資、ソーシャル・インバウンド・ボンド、遺贈制度活用等）、寄附文化の醸成
- ・地域自治組織による地域課題への対応、エリアマネジメントや小規模多機能自治など

■多様な主体による共助社会・地域づくり

市民出資のファンドによるエネルギーの地産地消の推進（長野県飯田市）

飯田市再生可能エネルギーの導入による持続可能な地域づくりに関する条例（H25.4.1）

目的 地域の豊富な再生エネルギーと地域の「結い」を活用して低炭素で活力ある地域づくりを実現

⇒再生エネルギーによる電気の全量固定価格買取制度を地域で公共的に活用する制度を構築

⇒再生エネルギーの活用と市民・公共団体等・行政とのかかわりを明確化

地域環境権

全国初！！

再生エネルギーから生まれるエネルギーを市民共有の財産と捉え、市民には、これを優先的に活用して地域づくりをする権利がある。

市民を中心とする多様な主体が取り組む再生エネルギーによる地域づくり事業を公民協働事業として支援。



全国初

ソーシャルビジネス事業者支援に特化した、地方自治体、地域金融機関、中間支援組織の三者がネットワークを立ち上げ

「ソーシャルビジネスサポートあいち」スタート！

平成26年10月23日より！！

ソーシャルビジネスサポートあいちって？

〇創業前からスタートアップ期にあるソーシャルビジネスを営む方が抱える、「経営面」、「財務面」等の悩みを、参加する地域の支援機関が連携して支援するネットワークです。

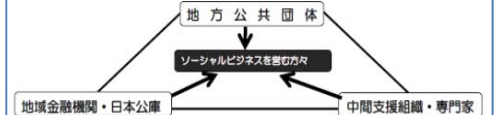
補助金の申請がしたい！

融資資金が欲しい！

設立手続きが知りたい！

事業計画を作りたい！

イメージ図



【出典：名古屋市のなごや★ぼらんぼナビHP】



誰もが愛着と憧れを持ち、働き住み続けたいくなる地域づくり

- ・地域産業の活性化、共助社会づくり、医療・介護・福祉などの充実による安心な暮らしの確保、UIターン・ふるさと移住促進などによる、誰もが生き活きと暮らせる社会を構築
- ・中部の多様な地域性である、ものづくりを始めとした活力や生活のゆとり感、自然と都市の近接性、歴史文化、伝統工芸、食文化など地域の魅力を再発見・再認識、情報発信
- ・次代を担う子供たちの地域活動や農業・農村体験による郷土愛の醸成

(コミュニティの再生)

- ・価値観の多様化、世代間・地域間連携の希薄化、コミュニティ弱体化への対応
- ・中部の強みである地域や人のつながりを活かし、子育てや介護などコミュニティを再生
- ・空き家や公的賃貸住宅などの活用、若者や高齢者向けの住宅供給、子育て施設整備、世代間交流促進によるソーシャルミックス等を通して、コミュニティ力再生に寄与

■人材育成・女性活躍社会に向けた取組

「なでしこ銘柄」選定企業

H24ダイバーシティ経営企業100選(経済産業大臣表彰)

◇豊田通商(株)

- ・仕事と家庭の両立支援制度の充実と利用できる風土の醸成
- ・女性のキャリア開発支援の取組
- ・多様性の促進に向けた様々なアプローチ

「■岐阜県モノづくりグローバル人材育成事業」タイでの研修



[いきキャリア研修] 研修風景



写真提供: 岐阜県

■コミュニティ再生に向けた取組

就農希望者の里親研修風景



写真提供: 長野県

「愛知県交流居住センター」による空き家見学ツアー



写真提供: 愛知県

地域福祉拠点、都市住民との交流拠点としての機能を備える「道の駅・田切の里(仮称・整備中)」(長野県飯島町)



医療・介護、福祉における安心な暮らしの確保

(増大する医療・介護・福祉需要)

- ・医療提供体制の再構築や医療機関同士の連携による効率化、医療機関と介護サービス事業者等の連携強化
- ・住み慣れた自宅や地域で、「医療・介護・介護予防・生活支援・住まい」のサービスを地域の実情に応じて一体的に受けられる地域包括ケアシステムの実現
- ・サービス付き高齢者住宅の供給や重層的かつ柔軟な住宅セーフティネット構築、住宅政策と福祉政策のハード・ソフトが連携した環境整備
- ・ICT活用による、在宅医療・介護システムや遠隔医療システム、緊急通報システム等高齢者の見守りシステムによる安心の提供
- ・福祉・介護人材不足への対応、装着型ロボットスーツなど現場のニーズに即した医療・福祉機器開発

(元気なうちの田舎暮らし)

- ・地域に活力を生むメリットが享受できるシニア世代の「元気なうちの田舎暮らし」のための環境整備

(救急救命環境)

- ・ドクターヘリやドクターカー高度運用、広域的に迅速・的確に対応する救急救命環境

■地域包括ケアシステムの概要

地域包括ケアシステムの姿



■ウェルネスバレー構想(大府市・東浦町)

ウェルネスバレーの形成 (健康長寿の一大拠点)

- ◇「あいち健康の森」周辺に集積する健康・医療・福祉施設・機能のポテンシャル
- ◇多様な主体の相互連携、健康長寿に関する一大交流拠点形成を目指す

健康、医療、福祉、介護等の健康長寿に関する産業の育成・創出

ウェルネスな生活活動が実践できる環境整備

ウェルネスを促す交流と賑わいづくりの推進

モデル事業・事業発信・相互連携の役割を担うコンソーシアムの構築

[出典: 大府市HP]